

### (3) 不良債権処理の進捗状況

景気低迷による債務者の業況悪化や担保価値の下落が続く中、14年9月期の不良債権処理額は、一般貸倒引当金を含め2,663億円となりました。処理額の内容としては、不良債権の新規発生等の資産劣化に伴う処理に加え、最終処理を促進する上での影響も小さくありません。

なお、貸出金償却、債権売却等のほか、企業の再建・再編等を通じた債権の健全化にも積極的に取組み、14年度上期におきましては、破綻懸念先以下の債権について元本総額で、約9,500億円の最終処理を実施しております。

また、経済合理性、経営責任の明確化、社会的影響を考慮した上で、3社、925億円の債権放棄を実施いたしました。

不良債権問題からの脱却は経営の最重要課題の一つであり、最終処理の一層の促進を図るほか、引続き不良債権処理に積極的に対応してまいります。